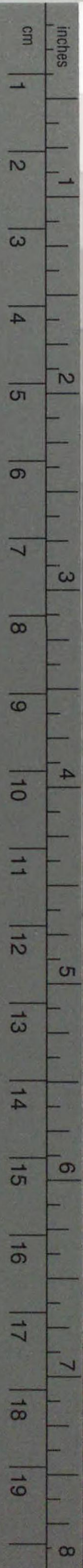


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

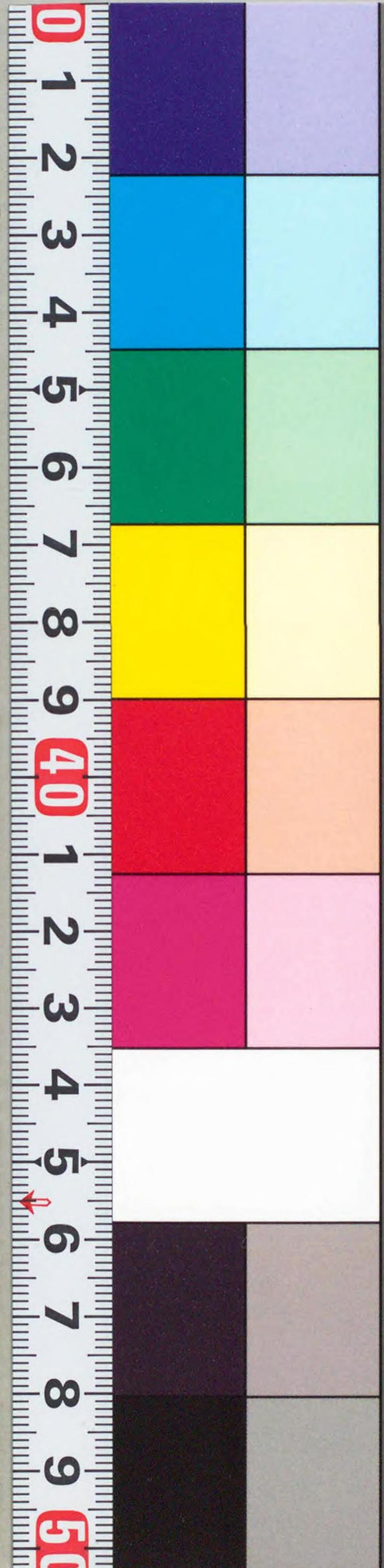
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



CZ
431
66



79W54352

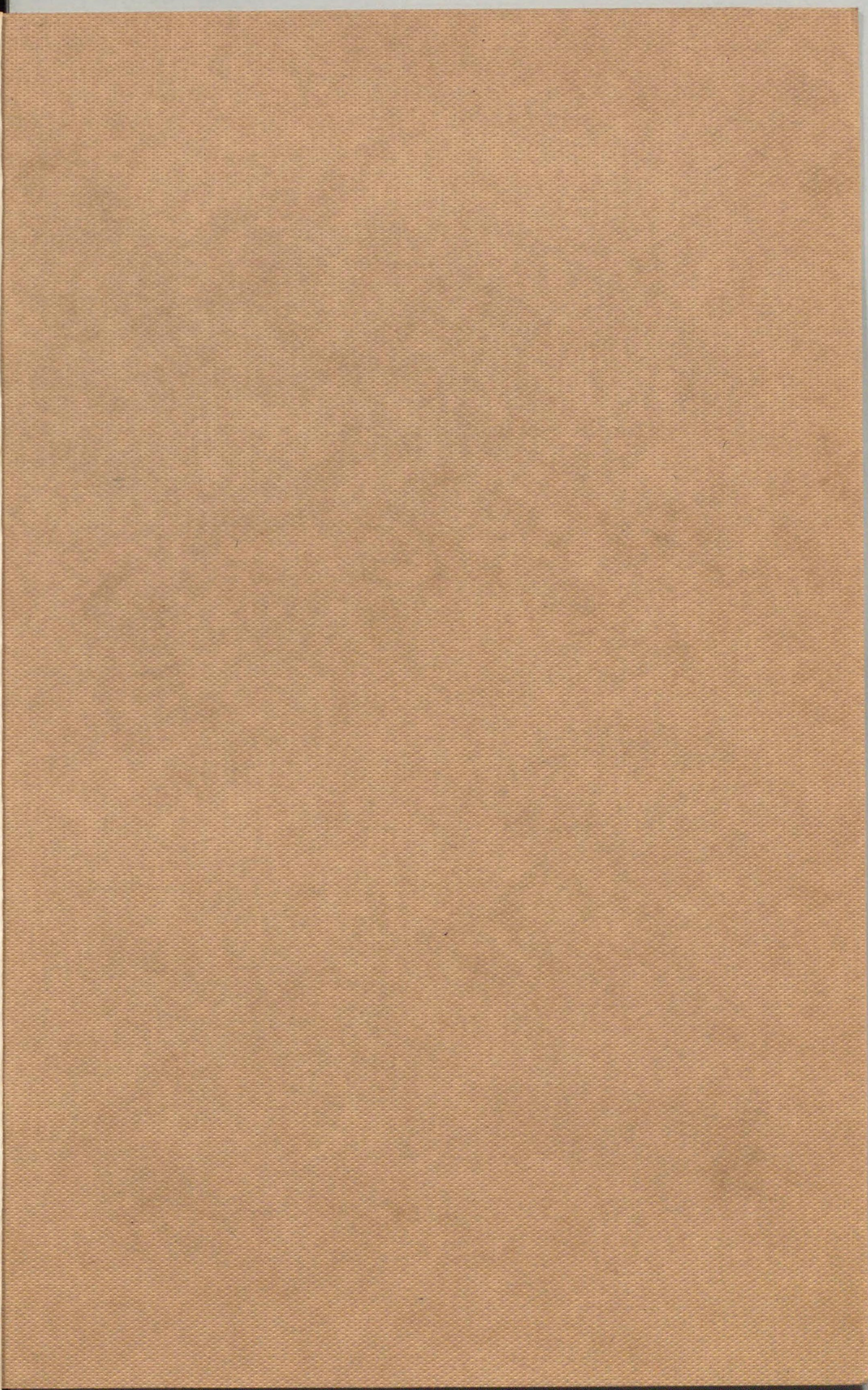
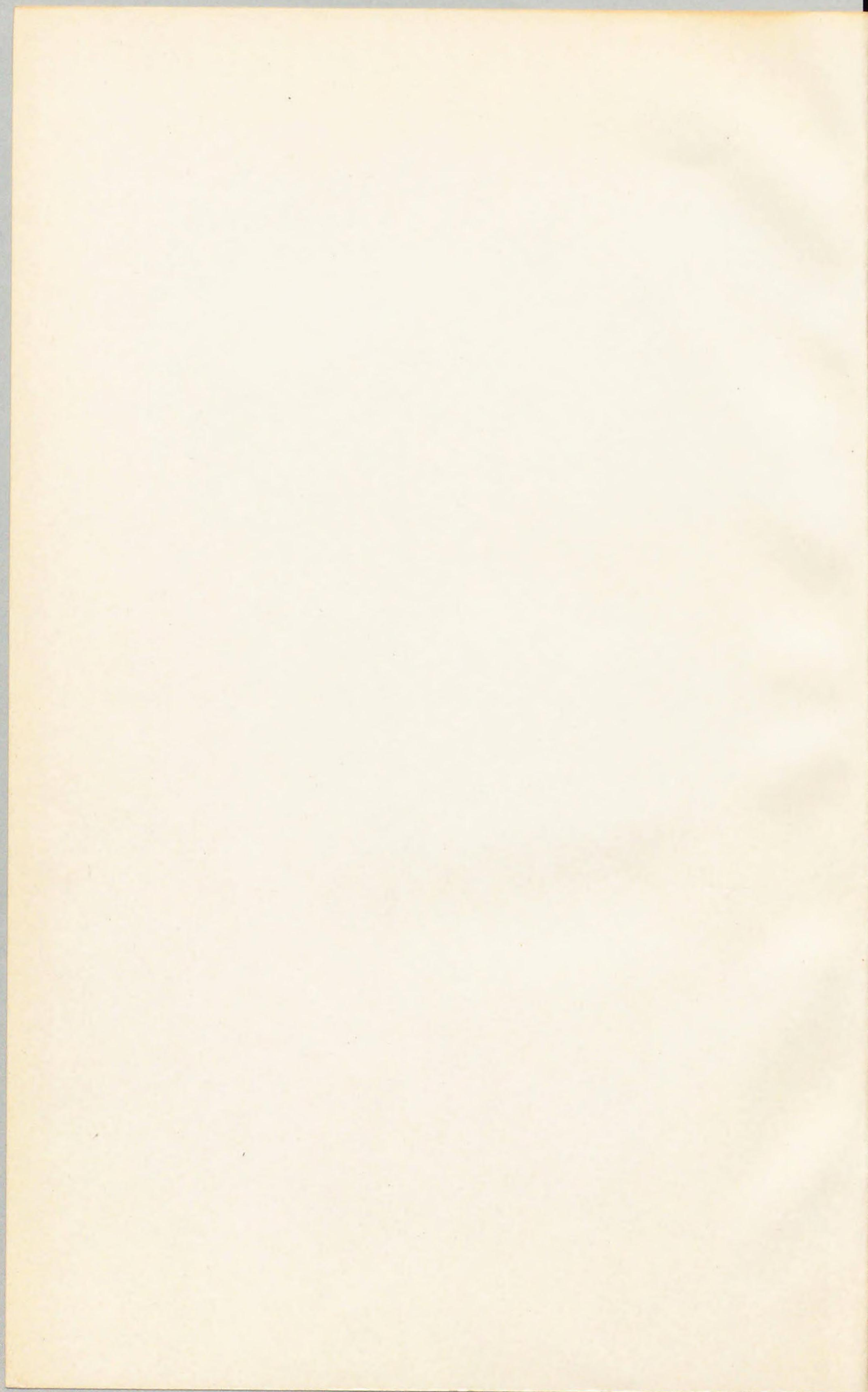


国有林野産物売払規則
国有林野産物売払手続

農林省 山林局

大正15年11月
(1926年)

国立国会図書館



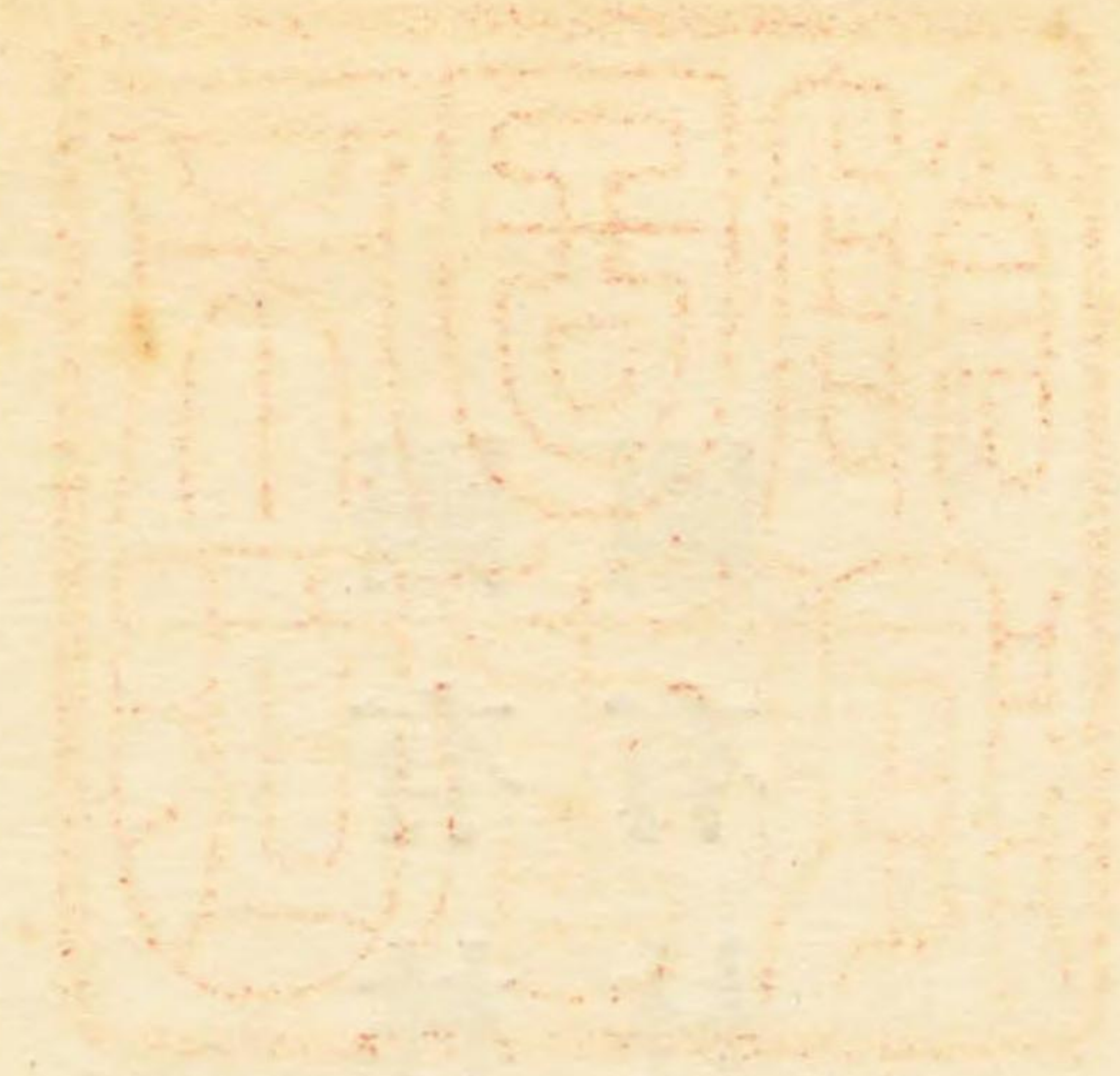
三三三M49



國有林野產物賣拂規則
國有林野產物賣拂手續

農林省山林局

CZ
431
66



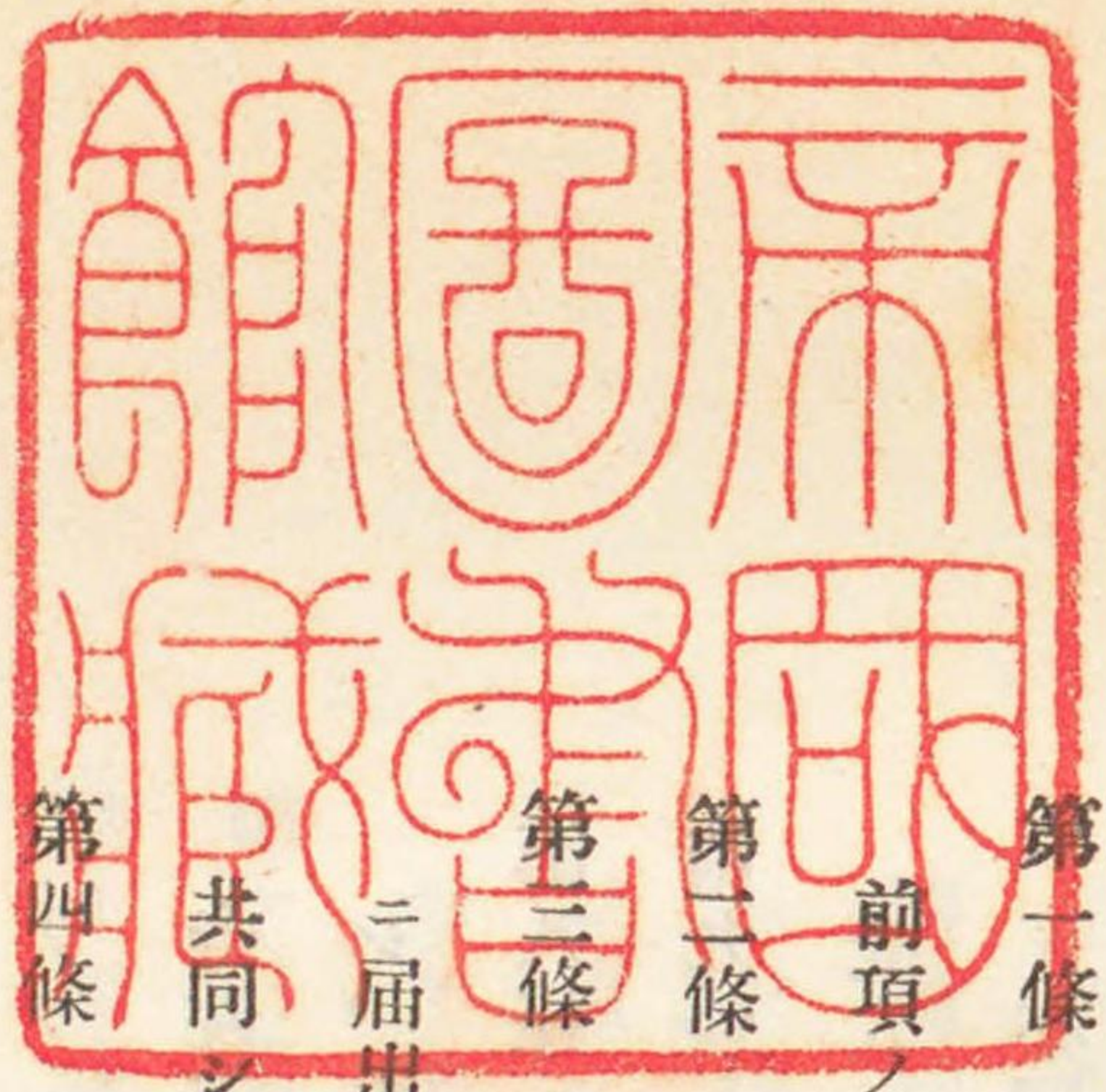
657

79W54352

國有林野產物賣拂規則

(大正四年七月二十四日
農商務省令第十三號)

第一章 通 則



第一條 國有林野產物ノ賣拂ハ法令ニ別段ノ定アルモノノ外本令ニ依リ之ヲ行フ

前項ノ賣拂ニハ注文ニ依リ產物ニ加工シテ供給スル場合ヲ包含ス

第二條 買受人ノ代理人ハ其ノ代理權ヲ證スル書面ヲ當該營林署ニ差出スヘシ

第三條 二人以上共同シテ買受ヲ爲サムトスルトキハ一人ノ代理人ヲ定メ之ヲ當該營林署

ニ届出ツヘシ其ノ届出ナキトキハ各人互ニ代理スルモノト看做ス

共同シテ買受ヲ爲ス者ハ各自連帶シテ其ノ債務ヲ負擔スルモノト看做ス

第四條 本人又ハ代理人住所ヲ變更シタルトキハ之ヲ當該營林署ニ届出ツヘシ代理人ノ變

更又ハ代理權ノ變更若ハ消滅アリタルトキ亦同シ

前項ノ届出ナキトキハ其ノ變更又ハ消滅ヲ以テ當該營林署ニ對抗スルコトヲ得ス

第五條 市町村買受ノ申込ヲ爲ストキハ買受ニ關スル市町村會ノ決議書ノ謄本ヲ差出スヘシ



前項ノ規定ハ市町村以外ノ公共團體ニ於テ買受ノ申込ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第六條 公用又ハ公益ニ關スル事業ノ爲買受ノ申込ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ起業カ官廳ノ許可ヲ要スルモノナルトキハ其ノ許可書ノ謄本ヲ差出スヘシ

第七條 神社買受ヲ爲サムトスルトキハ官國幣社ニ在リテハ神職ヨリ、其ノ他ノ神社ニ在リテハ神職及氏子又ハ信徒ノ總代連印シテ其ノ申込ヲ爲スヘシ

寺院又ハ佛堂買受ヲ爲サムトスルトキハ住職又ハ寺持僧侶及檀徒又ハ信徒ノ總代連印シ、寺院ニ在リテハ管長ノ買受認可書ヲ添附シテ其ノ申込ヲ爲スヘシ

第八條 賣拂物件ノ數量及材積計算ノ方法ハ政府ノ定ムル所ニ依ル

第九條 斫伐若ハ採取ノ箇所、面積又ハ物件ノ寸尺、數量若ハ品質ニ錯誤アルトキト雖買受人ハ特約アルニ非サレハ之ニ關シ異議ヲ述フルコトヲ得ス物件ニ隠レタル瑕疵アルト

キ亦同シ

第十條 立木竹ノ賣拂ニハ特約アル場合ノ外根株ヲ包含セス

第十一條 買受人ハ當該營林署長ノ認可ヲ得ルニ非サレハ引渡又ハ採取許可以前ノ物件ニ關シ一切ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第十一條ノ二 本令中營林署又ハ營林署長トアルハ第二十一條ノ規定ヲ除クノ外營林局長

ニ於テ賣拂ヲ爲ス場合ニ在リテハ營林局又ハ營林局長トス

第二章 競争契約

第十二條 郵便入札書ハ其ノ封書ヲ二重ト爲シ内封中ニ入札書ヲ封入シ外封中ニ入札保證金タルヘキ郵便爲替證書、日本銀行ノ預金部預金振込濟通知書、政府保管有價證券振込濟通知書又ハ營林局署ノ受託證書ヲ封入シ書留郵便又ハ配達證明郵便ヲ以テ之ヲ差出スヘシ但シ入札保證金又ハ保證金タルヘキ證書ハ別ニ之ヲ差出スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ入札物件ノ賣拂番號アルトキハ内封ノ封皮ニ之ヲ記載シ前項但書ノ場合ヲ除クノ外入札保證金ノ各番號ニ對スル金額ヲ記載シタル書面ヲ外封中ニ封入スヘシ

第十三條 削除

第十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル入札ハ之ヲ無効トス

- 一 賣拂番號、入札金額又ハ氏名若ハ名稱ノ確認シ難キトキ
- 二 捺印ナキトキ
- 三 入札保證金又ハ第十二條ノ保證金タルヘキ證書ナキトキ又ハ其ノ金額不足ナルトキ
- 四 郵便入札書開札ノ時限又ハ場所ニ到達セサルトキ

會計規則 第九條 乃至第七條 規定ハ指合ニ之 契約ノ場合ニ之 各省大臣必要ナシト認ムル場合ニ於テハ第九條ノ免除スルコトヲ得 第九條 競争ニ加ラムトスル者ハ現金又ハ國債ヲ以テ見納以上ノ保證金ヲ

五 入札保證金又ハ第十二條ノ保證金タルヘキ證書開札ノ時限又ハ場所ニ到達セサルト

キ

第十五條 落札人定リタルトキハ契約擔任官吏ハ直ニ其ノ旨ヲ落札人ニ通知スヘシ

第十六條 入札保證金ハ入札ヲ終リ又ハ入札ヲ取消シタル後之ヲ還付ス但シ落札人ニ對シテハ契約締結ノ際之ヲ還付シ又ハ契約保證金ニ充當ス

第十七條 契約擔任官吏入札人ノ連合、不穩ノ舉動其ノ他ノ事由ニ依リ正當ニ入札ヲ行フコト能ハスト認ムルトキハ何時ニテモ其ノ入札ヲ取消スコトヲ得

第十八條 落札人契約擔任官吏ノ指定シタル期間内ニ契約ヲ締結セサルトキハ落札ハ之ヲ取消スコトアルヘシ

前項ノ規定ニ依リ落札ヲ取消シタルトキハ入札保證金ハ之ヲ政府ノ所得トス

第十八條ノ二 前條ノ規定ニ依リ落札ヲ取消シタル場合ニ於テ落札人會計規則第百十三條ノ規定ニ依リ入札保證金ヲ免除セラレタル者ナルトキハ違約金トシテ入札金額ノ百分ノ

十二相當スル金額ヲ徴收ス

第三章 隨意契約

第十九條 會計規則第百十四條第一項第一號ノ規定ニ依リ隨意契約ヲ以テ國有林野產物ヲ賣拂フハ左ノ場合ニ限ル

一 隨意契約ヲ以テ賣拂フ國有林野產物ト併合シテ處分スルニ非サレハ森林ノ更新ヲ障害スルノ虞アル混生木ヲ併合シテ賣拂フトキ

會計規則第百十四條第一項第十九號ノ規定ニ依リ隨意契約ヲ以テ國有林野產物ヲ賣拂フハ左ノ場合ニ限ル

一 地元特有ノ産業ニ必要ナル薪炭材、副產物又ハ豫定代價五千圓ヲ超エサル家庭工業用材ヲ其ノ業ヲ營ム地元住民ニ賣拂フトキ

二 林業ニ必要ナル運搬設備ノ用ニ供スル爲必要ナル附近國有林野ノ產物ヲ其ノ起業者ニ賣拂フトキ

三 鑛業ニ必要ナル附近國有林野ノ產物ヲ鑛業人ニ賣拂フトキ

四 燐寸、漆器、各其ノ材料、經木、繭、丹寧、乾溜液、染料、藥品、椎茸又ハ特ニ利用ヲ増進スル必要アル潤葉樹ノ原料トスル木工品、合板、各其ノ材料、建築材料、車輛材料、船艦材料、鐵道枕木、包裝材料若ハ道路鋪裝材料ノ製造業者ニシテ一箇年以上

繼續シテ其ノ事業ヲ營ミ信用確實ナル者ニ其ノ原料ヲ賣拂フトキ

五

會計規則 第九條 乃至第七條 規定ハ指合ニ之 契約ノ場合ニ之 各省大臣必要ナシト認ムル場合ニ於テハ第九條ノ免除スルコトヲ得 第九條 競争ニ加ラムトスル者ハ現金又ハ國債ヲ以テ見納以上ノ保證金ヲ

十九條 同業上ハ拓 確事業ノ保護獎勵 物ノ爲ニ必要ナル 物ヲ賣拂フ若ハ貸 付テ爲ストキ又ハ 生者ヨリ直接ニ 其ノ生産若ハ製造 係ル物品ノ買入 爲ストキ

五 粗製樟腦、樟腦油專賣法ニ依リ許可ヲ受ケタル粗製樟腦、樟腦油製造業者ニ其ノ原料ヲ賣拂フトキ

六 土石ヲ必要トスル工業者、一箇年以上繼續シテ其ノ事業ヲ營メル土石採取業者又ハ耕地整理組合、森林組合等營利ヲ目的トセサル法人ニ其ノ事業ニ必要ナル土石ヲ賣拂フトキ

會計規則第百十四條第一項第二十號ノ規定ニ依リ隨意契約ヲ以テ國有林野產物ヲ賣拂フハ左ノ場合ニ限ル

- 一 公署、公立學校、公立病院、慈善病院等ノ建築ニ必要ナル產物ヲ賣拂フトキ
- 二 港灣、鐵道、軌道、橋梁、堤防、溜池、水道、水利、水害防備、水力發電等ノ工事ニ必要ナル產物ヲ賣拂フトキ

三 非常災害アリタル場合ニ於テ其ノ罹災者救濟ニ必要ナル薪炭材ヲ賣拂フトキ

會計規則第百十四條第一項第二十一號ノ規定ニ依リ隨意契約ヲ以テ國有林野產物ヲ賣拂フハ左ノ場合ニ限ル

- 一 從來ノ慣行ニ依リ薪炭材又ハ副產物ヲ地元住民ニ賣拂フトキ
- 二 社寺保管林、部分林又ハ民地官木林ノ產物ヲ其ノ林野ノ保管者、造林者又ハ土地所

同上
公用ハ公益事業
ニ供スル爲必要
ナル物件ヲ直接
ニ公共團體又ハ
起業者ニ賣拂又
ハ貸付ヲ爲スト
キ

同上
物、林野又ハ其
ノ產物ヲ之ニ特
別ノ緣故アル者
ニ賣拂又ハ貸付
ヲ爲ストキ

有者ニ賣拂フトキ

三 社寺上地林ノ產物ヲ其ノ社寺ノ建築又ハ修繕ノ材料トシテ其ノ社寺ニ賣拂フトキ

四 委託林ノ產物ヲ自家用ノ建築材料若ハ其ノ修繕ノ材料又ハ自家用若ハ稼用薪炭ノ原料トシテ其ノ受託者ニ賣拂フトキ

五 組替、賣拂、貸付又ハ讓與ヲ爲シタル林野ノ產物ヲ其ノ土地ノ管理者、買受人、借受人又ハ讓受人ニ賣拂フトキ

第二十條 削除

第二十一條 賣拂ヲ受ケムトスル者ハ便宜ノ營林局、營林署又ハ擔當區官舎ニ就キ買受申込用紙ノ交付ヲ受クルコトヲ得

第二十二條 會計規則第百十四條第一項第十四號又ハ本則第十九條第三項第一號、第二號若ハ第四項第三號、第四號ノ規定ニ依リ建築又ハ土木工事ノ爲買受ヲ爲サムトスル者ハ其ノ申込書ニ工事ノ設計圖書ヲ添附スヘシ但シ急迫ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル物件ニ付營林署長ニ於テ必要ト認メタルトキハ當該事業者ニ其ノ年期賣拂ヲ爲スコトヲ得

- 一 工業ノ原料トシテ特ニ利用ヲ増進スル必要アル潤葉樹ノ立木

同上
十四 非常災害ア
リタル場合ニ於
テ罹災者ニ政府
ノ生産ニ係ル建
築材料ノ賣拂ヲ
爲ストキ

二 前號ノ物件ト共ニ賣拂フヲ利益トスル混生木

第二十四條 副産物ニ付營林署長ニ於テ必要ト認メタルトキハ其ノ年期賣拂ヲ爲スコトヲ得

第二十五條 年期賣拂ノ期間ハ十箇年ヲ超ユルコトヲ得ス但シ契約ノ更新ヲ妨ケス

前項ノ期間ノ計算ハ政府ノ會計年度ニ依ル

第二十六條 立木ノ年期賣拂ヲ受ケムトスル者ハ買受ノ事由、事業ノ計畫（必要ノ場合ニハ計畫圖面ヲモ添附スヘシ）其ノ他事業上必要ナル事項ヲ記載シタル調書ヲ作り之ヲ買受申込書ニ添附スヘシ

契約締結ノ後前項ノ調書ニ記載シタル主要ナル事項ニ付變更ヲ爲サムトスルトキハ豫メ其ノ要旨ヲ當該營林署ニ届出ツヘシ

第二十七條 即時ニ賣買契約ヲ締結セムトスルトキハ申込書又ハ承諾書ヲ省略スルコトヲ得

第二十八條 指定期間内ニ契約書ヲ作成セス又ハ契約保證金ヲ納付セサルトキハ賣拂ノ承諾ヲ取消スコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ違約金トシテ申込代金ノ百分ノ十二相當スル金額ヲ徴收ス

年期賣拂ニ在リテハ其ノ年期間ヲ通シタル申込總代金ヲ以テ前項ノ申込代金トス

第二十八條ノ二 前條ノ規定ニ依リ製品賣拂ノ承諾ヲ取消シタル場合ニ於テ前條ノ規定ニ依ル違約金ヲ以テ其ノ損害ヲ償フコト能ハサルトキハ政府ハ其ノ不足額ニ對シ賠償金ヲ徴收スルコトアルヘシ

第二十九條 會計規則第百十四條第一項第十四號、第十八號又ハ本則第十九條第二項、第三項若ハ第四項第三號、第四號ノ規定ニ依リ賣拂ヲ受ケタル者ハ引渡又ハ採取ノ許可ヲ受ケタル後ト雖當該營林署長ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ目的以外ニ物件ヲ使用、消費又ハ讓渡スルコトヲ得ス物件ヲ擔保ニ供スルコト亦同シ

買受人前項ノ規定ニ違反シタルトキハ其ノ使用又ハ處分シタル物件ノ賣拂代金ノ百分ノ二十二相當スル金額ヲ違約金トシテ徴收ス

前項ノ規定ハ第五十三條、第五十五條及第五十六條ノ規定ノ適用ヲ妨ケス但シ此ノ場合ニ於テ第五十五條ノ規定ニ依リ政府ノ所得トスル保證金又ハ徴收スヘキ違約金ハ賣拂代金ヨリ前項ノ規定ニ依ル違約金算定ノ基本トナリタル金額ヲ控除シタル金額ニ付之ヲ決定ス

十八 同上
學術又ハ技
藝ノ保護獎勵
爲之ニ必要ナル
物件ノ賣拂又ハ
貸付ヲ爲ストキ

大正十年農商務省令第二十八號
 國有林野又ハ其ノ
 產物若ハ製品ノ賣
 拂代金ハ一口五百
 圓以上ナル場合ニ
 限リ國債ヲ擔保ト
 シテ提供セシメ一
 年以内ノ延納ヲ許
 シスルコトヲ得但
 擔保ヲ免除スルコ
 トヲ得
 公共團體又ハ社寺
 ニ對シテハ前項ノ
 賣拂代金ハ一口三
 百圓以上トシ其ノ
 期間ハ三年以内、
 テハ二年以内、
 テハ一年以内、
 物又ハ製品ニ在リ
 木散生地又ハ無樹
 木地ニ對シ農商立
 大臣ノ定ムル所ニ
 依リ造林ナルモ
 ノニ在リテハ五年
 以内ト爲スコトヲ
 得

第四章 代金納付

第三十條 賣拂代金ノ納付期限ハ物件引渡以前ニ於テ引渡物件ニ相當スル代金ニ付當該營
 林署長之ヲ定ム

第三十一條 大正十年農商務省令第二十八號ノ規定ニ依リ物件ノ引渡以後ニ於テ代金ヲ納
 付スルコトヲ許可スル場合ニ於テハ代金ハ數回ニ分割シテ之ヲ納付セシムルコトヲ妨ケ
 ス

分割引渡ノ場合ニ於テ延納ヲ許可シタルトキハ其ノ擔保ハ物件引渡ノ都度之ヲ提供セシ
 ムルコトヲ得

第三十二條 代金延納ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ契約締結前其ノ意思ヲ表示スヘシ但シ年
 期賣拂ノ場合ニ於テハ各年度ノ代金納付期限前其ノ意思ヲ表示スヘシ

第三十三條 代金延納ノ期間ハ擔保提供期限ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス但シ擔保ヲ免除シタル
 トキハ契約成立ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第三十四條 削除

第三十五條 擔保品ハ延納代金額以上ノ價額ヲ有スルコトヲ要ス

第三十一條第二項ノ規定ニ依リ物件引渡ノ都度擔保ヲ提供セシムル場合ニ於テハ分割引
 渡毎ニ生スル延納代金額ヲ以テ前項ノ延納代金額トス

第三十六條 延納代金ノ一部ヲ納付シタルトキハ其ノ金額ニ相當スル擔保ハ之ヲ還付スル
 コトヲ得

第三十七條 代金ノ分納ヲ條件トシテ延納ヲ許可シタル場合ニ於テ己ムヲ得サル事由ニ依
 リ其ノ納期ニ代金ヲ納付スルコト能ハサルトキハ買受人ノ請求ニ依リ相當期間ヲ指定シ
 テ其ノ納付ヲ猶豫スルコトヲ得但シ其ノ延納代金ノ最後ノ納期ヲ超ユルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ依リ納付ヲ猶豫シタルトキハ其ノ猶豫期間ニ對シ年五分ノ利息ヲ徵收ス

第三十八條 買受人納期ニ延納代金ヲ納付セサルトキハ其ノ擔保品ノ全部又ハ一部ヲ公賣
 シ其ノ公賣代金ヲ以テ順次公賣費用、前條ノ利息及賣拂代金ニ充當スルコトヲ得此ノ場
 合ニ於テ剩餘アルトキハ之ヲ買受人ニ還付シ不足アルトキハ之ヲ追徵スヘシ但シ納期未
 達ノモノアルトキハ擔保品公賣代金ノ剩餘ハ之ヲ日本銀行ニ供託シ納期到來ノ際其ノ代
 金ニ充當スルコトヲ得

第三十九條 現金ヲ以テ納付シタル契約保證金ハ之ヲ代金ニ充當スルコトヲ得但シ年期賣
 拂、分割引渡又ハ代金延納ヲ許可シタル一般競争契約ノ場合ニ於テハ全部ノ代金ヲ完納

スル際ニ非サレハ之ヲ充當スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ國債ヲ以テ納付シタル契約保證金ヲ代金延納ノ擔保ニ充當スル場合ニ之ヲ準用ス但シ一般競争契約ノ場合ニ於テハ此ノ充當ヲ爲スコトヲ得ス

代金延納ヲ許可シタル一般競争契約保證金國債ナルトキハ全部ノ代金ヲ完納スル際ニ限リ其ノ公賣代金ヲ以テ公賣費用及前條ノ追徴金ニ充當スルコトヲ得

第五章 物件ノ引渡及搬出

第四十條 賣拂物件ノ引渡又ハ採取許可ハ之ニ對スル代金ヲ納付シ又ハ其ノ擔保ヲ提供シタル後ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス但シ官廳ニ賣拂フ場合ハ此ノ限ニ在ラス

買受人賣拂物件ノ引渡ヲ受ケタルトキハ領收證ヲ差出スヘシ

第四十一條 物件ノ引渡ハ買受人立會ノ上之ヲ爲ス但シ買受人立會ヲ爲サス又ハ之ヲ爲スコト能ハサルトキハ物件引渡ノ通知ヲ發スルニ依リ引渡ヲ爲シタルモノト看做ス

樹實、菌蕈、秣、蔬菜、柴草、落葉、藥草、其ノ他採取ノ季節アル副産物ノ採取許可ハ代金ヲ納付シタル時ニ於テ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第四十二條 分割引渡ハ製品ノ賣拂ノ場合ニ限り之ヲ爲スコトヲ得

分割引渡ノ期間ハ契約成立ノ日ヨリ一箇年ヲ超ユルコトヲ得ス但シ注文ニ依リ産物ニ加工シテ供給スル場合ニ於テハ最初ノ引渡ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第四十三條 削除

第四十四條 賣拂物件ノ搬出又ハ採取ノ期間ハ引渡ヲ終リ又ハ採取ヲ許可シタル日ヨリ起算シ左ノ期間内ニ於テ當該營林署長之ヲ定ム

一 立木ニ付テハ二箇年但シ製炭原木又ハ之ト共ニ賣拂フ混生用材木ニ付テハ三箇年、
椎茸原料木又ハ之ト共ニ賣拂フ要スル混生木ニ付テハ五箇年

二 立竹ニ付テハ六箇月

三 製品ニ付テハ二箇月但シ政府ノ事業上支障ナキトキハ一箇年

四 副産物ニ付テハ一箇年

第四十五條 期間内ニ搬出又ハ採取ヲ終ラサル場合ニ於テ買受人延期ノ出願ヲ爲ストキハ相當期間ヲ指定シテ之ヲ許可スルコトヲ得但シ延期期間ハ延期數回ニ亘ル場合ト雖前條ノ規定ニ依リ定メタル期間ノ日數又ハ一箇年ヲ超ユルコトヲ得ス

期間滿了ノ翌日ヨリ起算シテ三十日ヲ經過シタル後到達シタル延期ノ出願ハ之ヲ受理セ

ス

第四十六條 延期期間ニ對シテハ許可前違約金トシテ左ノ金額ヲ徵收ス

一 製品以外ノ產物ニ付テハ代金百圓以上ナルトキハ一日ニ付其ノ二千分ノ一ニ相當スル金額、代金百圓未滿ナルトキハ一日ニ付金五錢

二 製品ニ付テハ置場使用面積一アールニ付倉庫ニ在リテハ一日金八十錢其ノ他ニ在リテハ一日金五錢但シ一アールニ滿タサル端數ハ一アールト看做ス

期間滿了ノ翌日迄ニ延期ノ出願ヲ爲サルトキハ其ノ日ヨリ出願ノ前日又ハ搬出、採取濟届出ノ日ノ前日迄ノ期間ニ對シテハ前項ニ定ムル金額ノ二倍ヲ徵收ス

一定ノ置場ニ集材ヲ終ラサルモノハ本條ノ適用ニ付テハ之ヲ製品以外ノ產物ト看做ス

第四十七條 前條ノ違約金ハ分割引渡ノ場合ニ於テハ當該分割引渡物件ノ代金、年期賣拂ノ場合ニ於テハ當該年度引渡物件ノ代金ヲ基礎トジテ之ヲ算定ス

第四十七條ノ二 國有林野ノ經營上特別ノ必要アルトキハ前數條ノ規定ニ拘ラス已ニ定メタル搬出又ハ採取ノ期間ヲ延長スルコトヲ得

第四十八條 不可抗力ニ依リ搬出又ハ採取ヲ爲スコト能ハサリシ期間ハ遲滯ナク其ノ事由ヲ具シ當該營林署長ノ承認ヲ受ケタルトキニ限り之ヲ搬出又ハ採取ノ期間ニ算入セス

第四十九條 買受人搬出又ハ採取ヲ終リタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ當該營林署ニ届出ツ

ヘシ

第五十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ搬出又ハ採取未濟ノ物件ハ之ヲ政府ノ所得トス

一 搬出又ハ採取濟届出ヲ爲シタルトキ

二 期間滿了ノ翌日ヨリ起算シテ三十日ヲ經過シタルトキ

三 第四十五條第一項但書ノ制限期間ヲ經過シタルトキ

第五十一條 買受人搬出又ハ採取未濟ノ物件ヲ讓渡シタルトキハ當該營林署ニ對スル讓渡人ノ權利義務ハ讓受人之ヲ承繼スル旨讓受人ト連印シテ當該營林署ニ届出ツヘシ

前項ノ場合ニ於テ讓受人其ノ義務ヲ履行セサルトキハ讓渡人ニ對シ其ノ履行ヲ請求スルコトヲ得

第一項ノ届出ナキトキハ其ノ讓渡ヲ以テ當該營林署ニ對抗スルコトヲ得ス

第五十二條 國有林野内ニ於テ斫伐、搬出、採取其ノ他買受ヨリ生スル行爲ヲ爲スニ當リ法令又ハ契約ニ違反スル所爲アリト認メタルトキハ當該營林署長ハ其ノ作業ノ中止ヲ命シ物件ノ處分ヲ禁止スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ買受人ハ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第六章 契約ノ解除及變更

一六

第五十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ當該營林署長ハ賣拂契約ヲ解除スルコトヲ得

- 一 期間内ニ代金ノ納付又ハ代金延納ニ對スル擔保ノ提供ヲ爲ササルトキ
- 二 第十一條又ハ第二十九條ノ規定ニ違反シタルトキ
- 三 國土保安、森林更新其ノ他ノ必要ニ基キ斫伐、搬出又ハ採取ノ方法等ニ關シ特ニ契約ニ於テ指定シ又ハ禁止シタル事項ニ違反シタルトキ

第五十四條 前條ノ規定ニ依リ契約ヲ解除シタルトキハ搬出又ハ採取未済ノ物件ハ政府ノ所得トス此ノ場合ニ於テハ之ニ相當スル代金ハ之ヲ還付スルコトアルヘシ

代金延納ヲ許可シタル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ還付スヘキ相當代金ヲ控除シ未納ニ屬スル代金ノ全部ヲ一時ニ徴收ス

代金延納ノ擔保ハ前項ノ未納代金ヲ納付シタルトキ之ヲ還付ス

第三十八條ノ規定ハ當該營林署長ノ指定シタル期間内ニ第二項ノ未納代金ヲ納付セサル場合ニ之ヲ準用ス

第五十五條 第五十三條ノ規定ニ依リ契約ヲ解除シタルトキハ契約保證金ハ之ヲ政府ノ所得トス契約保證金ナキトキハ違約金トシテ賣拂代金ノ百分ノ十二相當スル金額ヲ徴收ス

分割引渡又ハ年期賣拂ノ場合ニ於テハ契約總代金ヲ以テ前項ノ賣拂代金トス

第五十六條 第五十三條ノ規定ニ依リ契約ヲ解除シタル場合ニ於テ保證金又ハ違約金ヲ以テ其ノ損害ヲ償フコト能ハサルトキハ政府ハ其ノ不足額ニ對シ賠償金ヲ徴收スルコトアルヘシ

第五十七條 法令ノ結果ニ依リ又ハ公用若ハ公益ニ關スル原因其ノ他己ムヲ得サル事由ニ依リ契約ヲ履行スルコト能ハサルトキハ當該營林署長ハ斫伐若ハ採取ノ停止ヲ命シ其ノ他契約ノ變更又ハ解除ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ買受人ハ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第五十八條 前條ノ規定ニ依リ契約ヲ變更又ハ解除シタルトキハ斫伐、搬出又ハ採取ヲ爲スコトヲ得サルニ至リタル物件ハ政府ノ所得トシ之ニ相當スル代金ハ之ヲ還付ス但シ採取ノ季節アル副産物ニシテ其ノ季節ヲ經過シタルモノニ付テハ代金ヲ還付セス

代金延納ヲ許可シタル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ還付スヘキ相當代金ヲ控除シ未納ニ屬スル代金ヲ其ノ納期ニ納付セシム

第三十六條乃至第三十八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ於テ代金延納ノ擔保ニ之ヲ適用ス

第五十九條 買受人ノ施シタル國有林野内ノ設備ハ其ノ使用ヲ終リ又ハ契約ヲ解除シタル

場合ニ於テ買受人ハ當該營林署長ノ指定シタル期間内ニ之ヲ收去シ土地ヲ原狀ニ復スヘシ但シ契約ニ別段ノ定アルトキ又ハ當該營林署長ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

買受人前項ノ義務ヲ怠リタル爲當該營林署長ニ於テ營林上障礙ヲ生スルノ虞アリト認ムルトキハ違約金トシテ原狀回復ニ要スル費用ノ二倍ニ相當スル金額ヲ徴收ス

第一項ノ規定ニ依リ指定シタル期間内ニ收去ヲ終ラサル設備ハ之ヲ政府ノ所得トス

第六十條 賣拂ニ附帶シテ國有林野ノ使用又ハ貸付ヲ許可シタル場合ニ於テ賣拂契約ヲ變更又ハ解除シタルトキハ當該營林署長ハ其ノ使用ヲ禁止シ又ハ貸付ヲ解除スルコトヲ得前項ノ場合ニ於テ買受人ハ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

附 則

第六十一條 本令ハ大正四年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

第六十二條 本令施行前締結シタル契約ニ付テハ仍從前ノ規定ヲ適用ス

第六十三條 國有林野產物賣拂規則、國有林野主產物年期賣拂規則、國有林野產物製品賣拂規則、國有林野產物製品年期賣拂規則、國有林野產物及製品賣拂入札規則、國有林野

產物及製品賣拂代金延納規則、明治三十七年省令第三號、明治四十一年省令第二十一號及明治三十九年省令第二十五號中產物ノ賣拂ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス

○大正十年五月農商務省令第十三號附則

本令ハ大正十年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前提供シタル國債以外ノ有價證券ノ價格ノ算定及不足額ノ補充ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

○大正十五年十一月農林省令第二十三號附則

本令ハ大正十五年十二月十五日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前締結シタル契約ニ付テハ仍從前ノ規定ヲ適用ス

參 考

國有林野法施行規則拔萃

(大正十一年十一月農商務省令第二十四號)

第一章 通 則

第一條 公共團體ノ出願ニシテ議決機關ノ議決ヲ要スル事項ニ係ルトキハ願書ニ其ノ議決書ノ謄本ヲ添附スヘシ

第二條 神社ノ出願ニ付テハ官國幣社ハ神職、其ノ他ノ神社ハ神職及氏子又ハ崇敬者總代、寺院又ハ佛堂ノ出願ニ付テハ住職又ハ受持僧侶及檀徒又ハ信徒ノ總代署名捺印スヘシ
寺院ノ出願ニシテ管長ノ添書ヲ要スルモノハ之ヲ願書ニ添附スヘシ

第三條 出願人又ハ契約當事者多數ナルトキハ一人又ハ數人ノ總代人ヲ定メテ届出ツヘシ
總代人ノ届出テナキトキハ當事者相互ニ代表スルモノト看做ス

第四條 出願人、契約當事者、總代人又ハ代理人ノ氏名又ハ住所ノ變更アリタルトキハ直ニ届出ツヘシ相續ニ依リ權利ヲ取得シタルトキ、代理人又ハ總代人ノ變更アリタルトキ又ハ其ノ權限ノ變更若ハ消滅アリタルトキ亦同シ

以下略

林第三五九三號內訓

營 林 局 署

國有林野產物賣拂手續左ノ通定ム

大正十五年十一月二十七日

農 林 大 臣

第一章 通 則

第一條 國有林野產物賣拂規則ニ依ル事務ハ別ニ定アルモノノ外本手續ニ依リ之ヲ處理スベシ

第二條 賣拂單價ハ賣拂物件又ハ之ヲ原料トスル生産品ノ市場價格、事業費、利子、企業利益、生産歩合等ヲ因子トシ且既往賣拂ノ成果ヲ參酌シテ之ヲ評定スベシ
國有林野ノ地元住民ノ自家用トシテ賣拂フベキ薪炭原木及副產物ニ付テハ特ニ必要ト認ムル場合ノ外既往三箇年ノ賣拂平均單價ニ依ルコトヲ得
採取ノ季節アル副產物ハ面積ヲ以テ賣拂フコトトシ既往ノ收穫ヲ參酌シテ數量ヲ見積リ之ニ依リ其ノ價格ヲ評定スベシ

前各項ノ賣拂單價又ハ價格算出ノ基礎ハ之ヲ賣拂決議書ニ明記スベシ

第三條 收穫豫定案ニ於テ一記入番號ニ掲上セルモノハ之ヲ分割シテ賣拂フコトヲ得ズ但シ特ニ分割賣拂ヲ有利トシ且殘存物件ノ賣拂ヲ困難ナラシムル虞ナキ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 賣拂ニ當リテハ買受希望者ヲシテ成ルベク現場ニ就キ物件ヲ熟覽セシムベシ

第五條 林道、貯木場等運材又ハ貯材ニ關スル設備ノ使用ハ之ヲ賣拂ノ條件ト爲スベシ但シ其ノ使用ヲ賣拂ノ條件ト爲シ難キ場合ニ在リテハ豫メ買受希望者ニ其ノ旨ヲ周知セシムベシ

第六條 部分林ノ木竹ヲ賣拂ハムトスルトキハ豫メ造林者ニ其ノ旨ヲ通知スベシ

第七條 部分林ノ木竹ヲ造林者以外ニ賣拂ヒタル場合ニ於テハ其ノ物件ノ所在地、種類、數量、價額其ノ他必要ナル事項ヲ造林者ニ通知スベシ

前項ノ場合ニ於テ其ノ民收代金ハ買受人ヲシテ直接之ヲ造林者ニ交付セシムベシ

第八條 第六條ノ規定ハ委託林野ノ薪炭材又ハ社寺保管林ノ木竹ヲ賣拂フ場合ニ之ヲ準用ス

第九條 國有林野產物賣拂規則ニ規定シタル事項中重要ナル事項及契約ニ際シ特約シタル

事項ハ之ヲ契約書ニ明記スベシ

第十條 國有林野產物賣拂規則第十五條、第十八條第一項、第二十八條第一項、第四十一條第一項、第五十三條及第五十七條第一項ノ規定ニ依リ買受人ニ通知スル場合ニ於テハ配達證明郵便其ノ他適當ナル方法ニ依リ之ヲ爲スベシ

第二章 競争契約

第十一條 競争入札ニ依ル賣拂公告ニハ左ノ事項ヲ示スベシ

- 一 產物ノ所在箇所
- 二 賣拂番號（賣拂物件二口以上ナルトキ）
- 三 產物ノ種類及數量（採取ノ季節アル副產物ニ在リテハ採取面積）
- 四 搬出又ハ採取ノ期間
- 五 入札竝開札ノ場所及年月日時
- 六 郵便入札書ヲ送達スベキ場所及到達ヲ要スル年月日時
- 七 入札保證金及契約保證金ヲ定ムル率
- 八 代金延納ヲ許可スル場合ニ於テハ其ノ許可ヲ受クル者ニ對スル保證金率及延納期間

(分割引渡ノ場合ニ於テハ引渡物件毎ノ延納期間)

九 明細書、契約書案等閲覧ノ場所

十 郵便入札ヲ許サザル場合又ハ郵便入札ノミニ依ル場合ニ在リテハ其ノ旨

十一 前各號ノ外必要ト認ムル事項

第十二條 契約擔任官吏ハ豫メ郵便入札書受付簿ヲ備置キ郵便入札書ノ配達ヲ受ケタル都度其ノ到達日時及差出人ノ氏名又ハ名稱其ノ他必要ノ事項ヲ記載シ郵便爲替證書、日本銀行ノ預金部預金振込濟通知書、政府保管有價證券振込濟通知書又ハ營林局署ノ受託證書ヲ歳入歳出外現金出納官吏又ハ保管有價證券取扱主任官ニ交付シ入札書ハ封緘ノ儘保管シ入札ノ際郵便入札書受付簿ニ照合シテ之ヲ入札函ニ投入スベシ

第十三條 郵便入札ハ國有林野產物賣拂規則第十二條ノ條件ヲ具備セザル場合ト雖支障ナキ限り前條ノ取扱ヲ爲スベシ

第十四條 開札ノ場合ニ於テハ賣拂番號、入札金額及入札人ノ氏名又ハ名稱ヲ讀上ゲ之ヲ筆記スベシ

第十五條 落札人定マリタルトキハ即時契約ヲ締結スベシ
落札人開札ニ立會ハズ其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ依リ即時契約ヲ締結スルコト能ハザル

トキハ相當ノ契約締結期間ヲ定メ之ヲ落札人ニ通知スベシ
前項ノ期間ハ落札ノ日ヨリ二十日以内ニ於テ之ヲ定ムベシ

第十六條 落札人ノ入札書ハ契約書ニ之ヲ合綴スベシ

第十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ會計法第三十一條第二項ノ規定ニ依リ指名競争ニ付スルコトヲ得

- 一 當業者相連合シテ不當ノ競争ヲ爲サムトスルノ虞アルトキ
 - 二 不誠實又ハ不信用ノ者競争ニ加入シ不當ノ競争ヲ爲サムトスルノ虞アルトキ
 - 三 契約上ノ義務ニ違背アルトキハ政府ノ事業ニ著シキ支障ヲ來スノ虞アルトキ
- 第十八條 信用確實ト認メタル者ニ對シ指名競争入札ニ依リ賣拂フ場合ニ於テハ入札保證金又ハ契約保證金ヲ免除スルコトヲ得
- 第十九條 第二十二條ノ規定ハ指名競争契約ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三章 隨意契約

第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ會計法第三十一條第二項ノ規定ニ依リ隨意契約ニ依リ賣拂ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 會計法ニ於テ賣買政府債券ノ爲メハ勅令ヲ以テ定メタル場合ニテ公告シテ競争ニ付スルヘシニテハ國務大臣前項ノ方法ニ依リ契約ヲ爲スル場合同ニ於テハ指名競争ニ付シ又ハ隨意契約ニ依リ賣拂フ場合ニ於テハ入札保證金又ハ契約保證金ヲ免除スルコトヲ得

一 隨意契約ニ依ルトキハ時價ニ比シ著シク有利ナル價格ヲ以テ契約ヲ爲シ得ベキ見込アルトキ

二 第十七條ノ各號ノ場合ニ於テ指名競争ニ付スルコトヲ不利トスル特別ノ事由アルトキ

第二十一條 隨意契約ニ依ル賣拂ニシテ即時ニ代金ヲ納付スル場合又ハ契約ノ履行確實ナリト認メタル者ニ賣拂フ場合ニ於テハ契約保證金ヲ免除スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ保證人ヲ立テシムベシ

第二十二條 契約書ヲ作成セザル場合ニ於テ契約保證金ヲ必要トスルトキハ賣拂承諾ノ際之ヲ徴收スベシ

第二十三條 契約書ハ買受人確定ノ日ヨリ二十日以内ニ之ヲ作成スベシ

第二十四條 官公衙ヲ相手方トスル場合ニ於テハ條件ヲ具備シタル適宜ノ文書ニ依リ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十五條 會計規則第百十五條又ハ第百十六條ニ依ル賣拂ハ最後ノ競争入札ノ日ヨリ六箇月以後ニ於テハ之ヲ爲スコトヲ得ズ

會計規則
第百十五條 競争ニ付スルモ入札者ナキトキ又ハ再度ノ入札ニ付スルモ落札者ナキトキハ隨意契約ニ依ルコトヲ得但シ保證金及期限ヲ除ク外最期競争ニ付スルコトヲ得最期競争ニ付スルコトヲ得最期競争ニ付スルコトヲ得最期競争ニ付スルコトヲ得

第四章 物件ノ引渡及搬出

第二十六條 引渡ハ代金完納又ハ擔保品提供済ノ日ヨリ十五日以内ニ着手スベシ但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十七條 引渡ハ成ルベク其ノ物件ノ調査ニ關係ナキ者ヲシテ之ヲ爲サシムベシ

引渡ハ產物實查ノ圖簿ニ對照シテ之ヲ爲スベシ

第二十八條 部分林ノ木竹ヲ賣拂ヒタル場合ニ於テハ買受人造林者ナルトキト雖官收民收ヲ通ジタル全部ニ付搬出期間ヲ定ムベシ

第二十九條 部分林ノ木竹ヲ造林者以外ノ者ニ賣拂ヒタル場合ニ於テハ造林者ガ民收金ヲ領收セシコトヲ認メタル後其ノ引渡ヲ爲スベシ

第三十條 搬出又ハ採取ノ終了ヲ認メタルトキ、其ノ届出アリタルトキ又ハ搬出若ハ採取ノ期間經過シタルトキハ直ニ跡地検査ヲ爲スベシ

前項ノ検査ニハ成ルベク買受人又ハ其ノ代理人ヲ立會セシメ成ルベク物件引渡ニ關係ナキ者ヲシテ之ヲ爲サシムベシ

第三十一條 引渡又ハ跡地検査ヲ終リタルトキハ當該官吏ハ引渡領収證又ハ搬出若ハ採取

濟届書ノ餘白其ノ他ノ用紙ニ其ノ要領ヲ摘記捺印スベシ
 第三十二條 事業施行上搬出又ハ採取ノ延期ヲ許可スルコト能ハザルコトヲ豫知シタル場
 合ニ於テハ賣拂契約ノ條件中ニ其ノ旨ヲ明示スベシ
 第三十三條 營林署長必要ト認メタルトキハ搬出又ハ採取ノ爲入林スル者ニ對シ入林鑑札
 ヲ交付スベシ

第三十四條 營林局長契約擔任官吏タル場合ト雖營林署長ヲシテ左ノ事項ヲ處理セシムル
 コトヲ得

- 一 引渡ニ關スルコト
- 二 國有林野產物賣拂規則第二十九條第二項ノ規定ニ依ル處分ニ關スルコト
- 三 搬出又ハ採取ノ延期處分ニ關スルコト
- 四 國有林野產物賣拂規則第四十八條ノ承認ヲ爲スコト
- 五 國有林野產物賣拂規則第五十二條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲スコト
- 六 國有林野產物賣拂規則第五十七條ノ規定ニ依リ斫伐又ハ採取ノ停止ヲ命ズルコト

第五章 經伺及報告

賣拂規則第二十九條第二項ノ規定ニ依リ前項ノ規定ニ違反シタルトキハ其ノ使用又ハ處分シタル物件ノ賣拂代金ノ百分ノ二ニ相當スル金額ヲ違約金トシテ徵收ス
 同上第四十八條ノ規定ニ依リ搬出又ハ採取ヲ爲ス間ハ運滞ナク其ノ事由ヲ具シ當該營林署長ノ承認ヲ受ケタルトキニ限リ之ヲ搬出又ハ採取ノ期間ニ算入セス

第三十五條 營林署長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ事由ヲ具シ營林局長ノ認可ヲ受クベシ

- 一 立木年期賣拂ヲ爲サムトスルトキ
- 二 隨意契約又ハ指名競争契約ニ依リ見積價格貳千圓ヲ超ユル木竹ノ賣拂ヲ爲サムトスルトキ但シ會計規則第一百五條又ハ第十六條ノ規定ニ依リ賣拂フ場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 三 隨意契約又ハ指名競争契約ニ依リ見積價格壹萬圓ヲ超ユル製品ノ賣拂ヲ爲サムトスルトキ
- 四 土地ノ資質ヲ爲ス副產物ニシテ見積價格百圓ヲ超ユル賣拂ヲ爲サムトスルトキ
- 五 期間三箇年ヲ超ユル副產物ノ年期賣拂ヲ爲サムトスルトキ
- 六 營林局長ノ認可ヲ受ケテ締結シタル賣拂契約ヲ變更又ハ解除セムトスルトキ但シ立木年期賣拂ノ場合ヲ除クノ外國有林野產物賣拂規則第五十三條ノ規定ニ依リ契約ヲ解除セムトスルトキハ此ノ限ニ在ラズ

- 七 國有林野產物賣拂規則第五十七條ノ規定ニ依リ契約ヲ變更又ハ解除セムトスルトキ
- 八 國有林野產物賣拂規則第五十四條第一項、第二項又ハ第五十八條第一項、第二項ノ

規定ニ依リ代金ヲ還付又ハ控除セムトスルトキ

前項第一號乃至第五號ノ場合ニ於テハ伺書ニ賣拂單價又ハ價格算出ノ基礎ヲ明記シ尙第一號ノ場合ニ在リテハ契約書案ヲ添附スベシ

第三十六條 營林署長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ之ヲ營林局長ニ報告スベシ

一 賣拂契約ヲ締結シタルトキ

二 賣拂契約ノ變更若ハ解除又ハ當初ノ契約數量ト異リタル數量ノ引渡ヲ爲シタルトキ

但シ其ノ處理ニ付認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

三 國有林野產物賣拂規則第十七條ノ規定ニ依リ入札ヲ取消シタルトキ

四 國有林野產物賣拂規則第五十二條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキ

五 國有林野產物賣拂規則第五十七條ノ規定ニ依リ斫伐又ハ採取ノ停止ヲ命ジタルトキ

第三十七條 營林局長ハ毎年度九月以降毎月末產物賣拂處分額累計ヲ翌月二十日迄ニ農林

大臣ニ報告スベシ

第三十八條 當該營林局長ハ左ノ市場ニ於テ毎月木材及薪炭ノ相場及其ノ取引ニ關スル狀

況ヲ調査シ翌月十日迄ニ之ヲ山林局長及各營林局長ニ通報スベシ

東京、大阪

第十七條 賣拂規則
任官吏入札ノ擔
連合、不穩ノ事
動其ノ正當ニ入
札ニ依リ正當ニ
ハスト認ムル能
キハ何時ニテモ
其ノ入札ヲ取消
スルトナリ

附 則

本手續ハ大正十五年十二月十五日ヨリ之ヲ施行ス

大正四年林第三二八八號内訓國有林野產物賣拂手續ハ之ヲ廢止ス

國有林野產物賣拂規則改正並同手續制定ニ關スル件

(大正十五年十二月二十七日山第三五三八號)
山林局長ヨリ各營林局長ニ通牒)

今般國有林野產物賣拂規則ノ改正並同手續制定セラレ候處就中立木及製品年期賣拂ハ從來ノ方針ヲ改メ特ニ利用ヲ増進スル必要アル濶葉樹ニ付國有林經營上ノ見地ヨリ進テ之カ立木年期賣拂ヲ必要トスル場合ニ限定スルノ趣旨ニ依リ改正ヲ加ヘラレタルモノニ有之其ノ他一般賣拂實行ニ際シ營林署長ノ自發的活動ト公正ナル常識的裁量ニ委スルヲ適當ト認メ權限ノ擴張ヲ爲シタルモノ等ノ如キ孰レモ一朝之カ適切ナル運用ヲ愆ルニ於テハ寒心スヘキ結果ヲ招來センヤモ難計候ニ付テハ諸般ノ監督ヲ周到嚴密ナラシムルト共ニ又濫リニ營林署長ノ權限ヲ束縛制肘シテ規定ノ本旨ニ悖ルカ如キコトナキヲ期セラレ度此段及通牒候也

追テ左記通牒ハ新規定施行ト同時ニ廢止ノ義ト御了知相成度申添候也

記

- 一 大正三年十月一日山第一三九九號國有林野產物賣拂單價取調ノ件
- 一 大正十三年四月一日山第七二二號國有林野產物處分ニ關シ協議方ノ件

同上ノ件

(大正十五年十一月二十七日
山林局長ヨリ秋田、東京、大
阪及高知各營林局長ニ通牒)

今般國有林野產物賣拂手續制定ノ結果大正八年十一月二十七日山第一七八九號照會ニ依リ
毎月通報相成居候林產物商況ノ件ハ自今通報ニ及ハス此段及通牒候也

大正十五年十一月二十五日印刷
大正十五年十一月二十七日發行

農 林 省 山 林 局

東京市京橋區南鍛冶町二十四番地
印刷者 小 松 善 作

東京市京橋區南鍛冶町二十四番地
印刷所 小 松 印 刷 所

電話京橋二六六六番



333M49

大五十五平十一日二十日
大五十五平十一日二十日

只林金山表

印... 小... 印... 印...
印... 小... 印... 印...

E 3M49

2
31
6